

社会とのコミュニケーション

当社は「広く社会とのコミュニケーションを行います。」と行動指針の中で定めています。今後もあらゆる機会を通じステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを促進していきます。

展示会への出展

展示会は当社グループの事業や製品をご理解いただく良い機会と捉え、積極的に参加しています。2010年度に出展した主な展示会は下表の通りです。

■2010年度に出展した主な展示会

| 日付 | 名称 | 出展内容 |
|------------|------------------|---|
| 5月15日～16日 | くまがやエコライフフェア | 熊谷工場におけるリサイクル事業 エコプランター製作体験 |
| 5月26日～28日 | コンクリート製品フォーラム | エコセメント、グループ企業は 関係する商材の展示 |
| 6月9日～11日 | 画像センシング展2010 | パシフィックシステム(株) 全周囲果実外観センサー |
| 7月7日～9日 | コンクリートテクノプラザ2010 | 展示テーマは サステナブルコンクリート |
| 7月30日～8月1日 | 環境広場 | 上磯工場の都市ごみ焼却灰 セメント資源化事業ほか |
| 8月27日 | コンクリエイション2010 | コンクリートの新たな魅力の創出と 市場開拓を目的として 新製品発表会を開催 |
| 11月3日～6日 | 香港環境博覧会 | 都市ごみ処理技術(エコセメント)、 下水汚泥処理技術 |



くまがやエコライフフェア



環境広場

各サイトでの活動

●住民説明会・環境報告会

新規に事業を開始する際や、採掘する鉱区の変更がある時には、地域の方々を対象に説明会を開催しています。また、リサイクル資源の受け入れ状況や排ガス測定値なども定期的に報告しています。

●環境モニター制度

工場近隣にお住まいの地域住民の方々に環境情報を定期ならびに随時に報告いただくモニターをお願いし、工場周辺の環境情報の迅速な把握に努め、対応しています。

●事業場見学会

工場を中心とした各事業所では、地域の主要産業として、学童、学生を中心に、近隣にお住まいの方々、従業員家族、行政関係者、企業の方々等に対し見学会を実施しています。

藤原工場では、7月9日に四日市大学環境情報学部の皆さんに工場見学会を実施(25名参加)しました。環境を学んでいる学生に排ガス処理装置の概要、廃棄物リサイクルの現況を説明しました。また、12月2日にはいなべ市立東藤原小学校の総合学習の一環として工場・鉱山見学会(18名参加)を行ないました。セメント製造工程の説明のほか当工場の主要設備である5号キルンや藤原鉱山のホイールローダーを見学しました。



参観デイ【熊谷工場】



鉱山の環境パトロール【大分工場】

●地域の自然保護活動

各事業所では、地域の緑化活動にも積極的に取り組んでいます。



きじひき高原植樹祭【上磯工場】



林道沿いの荒廃樹木の枝打ち【藤原工場】

●地域への貢献

上磯工場では、11月27日、通所授産施設から排出された廃グリセリンを、その施設の社会性を考慮し、社会貢献活動の一環として無償で受け入れて処理しました。地元紙にも掲載され、高い評価を受けました。



廃グリセリンの受け入れの様子【上磯工場】

●職業体験支援

8月9日、10日の2日間にわたり、(財)経済広報センター主催の「教員の民間企業研修」として横浜市教育委員会所属の教員を受け入れ、研修を行ないました。研修では埼玉工場の見学や当社のCSR活動、人事制度の説明等を行ないました。この研修は、学校の先生方に企業活動を実体験していただき、その体験や見聞を授業を通じて明日の日本を担う子供たちへ伝えていただくことを目的として企画され、当社の受け入れは今年で13回目となります。



教員の民間企業研修の様子【埼玉工場】

●地域の産業人材育成

大船渡工場では、7月21日、岩手県立大船渡東高校の機械科3年生を対象とした機械保全技能検定講習会に設備部員2名を派遣し、講師としてアドバイスを行ないました。



機械保全技能検定講習会の様子【大船渡工場】

●地域清掃への参加

各事業所では、周辺地域を中心に従業員が定期的に清掃・除草など美化活動を実施しています。また、自治体などの企画による清掃活動にも積極的に参加しています。



中央研究所



上磯工場

●地域行事への参加

各事業所では、地域活性化を支援するため積極的に地域行事へ参加しています。

上磯工場では、7月24日に開催された「北斗市夏まつり」に参加し、大太鼓を載せた山車、子供御輿によるパレードで祭を盛り上げました。沿道で見守る市民の皆さんに配って歩く工場特製団扇と子供向けの風船は、毎年大好評です。



北斗市夏まつり【上磯工場】

大分工場では、10月24日に開催された「つくみふるさと振興祭」へ参加し、地域の皆様への日頃の感謝の気持ちを込め、花の苗840鉢を無償配布しました。当日はあいにくの雨の中でしたが、100名以上の方が並び、花の苗をお渡しした時には、笑顔で「ありがとう」という言葉をいただき、地域とのふれあいを再確認したひと時でした。



つくみふるさと振興祭【大分工場】

●武甲山資料館

武甲山資料館では、武甲山の信仰の山としての歴史や地質、生息する動植物等に関する資料を展示しています。当社グループでは、チチブイワザクラ等の希少植物の保護、育成に取り組んでおり、開花時期に展示用として提供するなど、武甲山資料館の活動に協力しています。



武甲山資料館

<http://www.bukohzan.jp/>
埼玉県秩父市大宮 6176 番地

海外拠点での活動

太平洋セメントグループは文字通り「太平洋」を取り囲む形で事業展開しています。今回紹介するセメント工場を有する4つの地域だけではなく、それぞれの地域で自然環境に配慮し、地域社会に貢献する活動を日頃より実施しています。

アメリカ

カルポルトランドでは、自然と社会と共生できる会社であり続けることを念頭に活動しています。

●ゲイリー骨材プラントの再生

持続可能性と採掘終了後の採掘場の再生は同社文化の重要な部分であり、土地を活用する同社にとって重要な責務です。

模範となるプロジェクトの一つに、カリフォルニア州セントラルコースト地域にあるゲイリー骨材プラントの採掘場があります。その土地はリバーベンチワイナリーが所有、運営していますが、同社は地下に埋蔵されている骨材を採掘し、採掘が終了した40エーカー分については、再生後、返還し、ワイン用ブドウ園として蘇りました。再生の工程は、大まかな整地、骨材採掘過程において発生した非常に粒度の細かい砂を利用した表土処理、仕上げの整地、灌漑設備や格子棚の設置、ブドウの植え付けとなります。

まだ、350エーカー(1.4km²)に25百万トンの骨材が残されており、これからも採掘後は、跡地の再生を行なっていきます。



ゲイリー骨材プラントの採掘場

●透水プロジェクトで3つの持続可能性賞を受賞

ロサンゼルス国際空港の駐機場拡張プロジェクトでは透水性コンクリートが採用され、同社がそのコンクリートを供給しました。

7日間にわたって24時間休みなしの供給が続けられました。プラントと現場の両方で品質管理者がつきっきりで技術的サポートを行ない、最適な配合設計とバッチャープラントの連続運転に細心の注意を払いました。プロジェクト完了後、同社は「100%透水コンクリート」販促キャンペーンにより“Excellence in Environmental Usage of Concrete Award”などの名誉ある産業賞3つを獲得しました。

フィリピン

タイハイヨウセメントフィリピンズでは、自然環境に優しく、地域に貢献する企業でありたいと、様々な地域貢献事業を実施・継続しています。

●河川や海岸におけるクリーンアップの実施

5月29日、同社工場周辺の河川および海岸線において、ごみ清掃を実施しました。当日は、同社および協力会社従業員から約200名のボランティアが集い、地域住民も約100名が参加しました。この行事は3年目を迎え、徐々に地元にも定着し、活動の輪が広がってきています。



クリーンアップの様子

●奨学制度の実施

6月26日、同社工場において、2010年度奨学生認証式が行なわれました。工場および粘土山周辺の12バラングイ(フィリピンにおける最小行政単位)からそれぞれ1名が当社奨学生(高校向け)として選出・認証されました。また、2008年度からはじまった大学向け奨学制度も3年目を迎え、同じく12バラングイの中から3名が選出・認証されました。大学向け奨学生に対しては、太平洋セメント本社からの協力も得て、授業料の全額に加えて、通学のための交通費や教材費等に対する補助も実施するという手厚い内容となっています。

また、この認証式には、第2期高校向け奨学生12名(2010年3月卒業)も招待され、それぞれの高校において優秀な成績を修めたことを称えられました。



奨学生認証式

ベトナム

ギソンセメントではビジネスとして高品質のセメントを安定供給するだけでなく、主に工場周辺と支店・営業所のあるハノイ・ニャチャン・ホーチミンにおいて、地域とともに発展するため、多くの社会貢献活動を行っています。

●生活向上の支援

ギソン工場近隣自治体の公共設備整備のためのセメントの寄付、医療体制の不十分な地域への病院建設、教育を受ける機会に恵まれない山岳地域における職業訓練校への奨学金や文具の提供、台風や洪水被害を受けた人々への援助など、地域の方々の生活向上に力を注いでいます。



災害援助を行なうギソン社員と住民



建設中の病院

●人材育成の支援

成長を続けるベトナムの将来を担う学生をサポートするため、ハノイでは大学への日本語教育助成を行っています。ニャチャンとホーチミンでは、安全で安心できる街づくりをサポートするため、コンクリート技術の学校を無償で開設し、ベトナム人技術者の育成に力を注いでいます。この技術学校は、今後、全国展開される予定です。



技術学校授業風景



技術学校集合写真

中国

中国では、3つの合併会社を中心に地域に根ざした企業を目指し、日々地域貢献活動、環境に配慮した活動を行っています。

●大連小野田水泥有限公司での取り組み

リサイクル資源の積極活用のため、廃棄物自動添加設備設置、塩素バイパス設備着工等、設備面での整備を進めています。また、大連市政府の要請を受け、大連石油貯蔵基地パイプライン爆発事故で発生した原油汚染土壌を無害化処理しました。

省エネ面では、廃熱発電設備（最高出力7,200kW）の新設工事を開始しました。完成後は工場電力使用量の35%をまかなうことができます。



廃棄物自動添加設備

●秦皇島浅野水泥有限公司での取り組み

省エネルギー・環境対策の一環として2011年5月に廃熱発電設備が完成し、試運転を開始しました。本稼働後は、工場における電力使用量の約35%をまかなうことが可能になります。また、CO₂削減に効果のあるPFセメント（フライアッシュ添加）の生産ならびに近隣企業より発生するガラス粉の受け入れなど、リサイクル資源の積極的な活用も進めています。

●江南小野田水泥有限公司での取り組み

廃熱発電設備や副産物の活用により環境負荷の削減に取り組んでいます。2010年12月には、江蘇省・南京市政府関係者に対し、環境事業説明会を開催して官民一体となった環境事業推進の働き掛けを行っており、地域に根ざした企業を目指して活動を行っています。また、従来から継続している場内清掃活動および緑化活動に加えて、2011年度は清掃用バキューム車を新規活用することで、より一層の環境美化活動に取り組んでいく予定です。